

平成18年度宮古群島病害虫発生予報第1号(4月予報)

4月の気象予報

要素別予報

要素	気温	降水量	日照時間
予報	並	並	並

(平成18年3月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地点別の平均値

要素	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	22.3	25.1	20.1	174.8	133.4

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

4月の発生予報 および防除上の注意事項

向こう1ヶ月間に農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

宮古群島

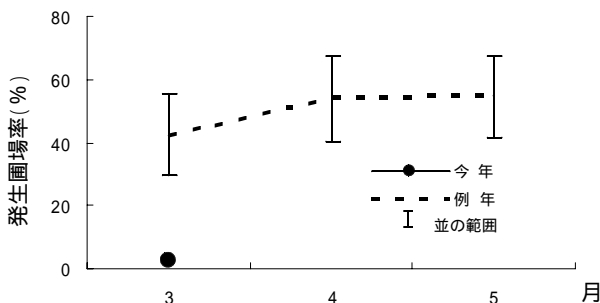
1 さとうきび

(1) 黒穂病

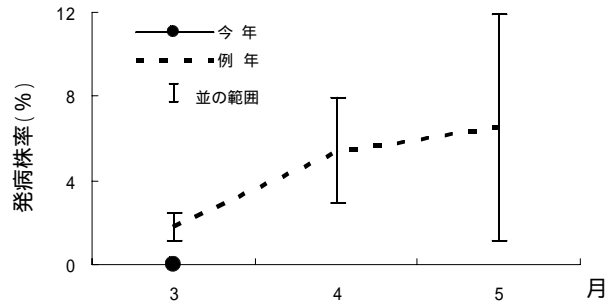
発生程度 : 少(多良間村)

予報の根拠

- a 3月下旬の調査の結果、新植夏植圃場での発生圃場率は2.3%であった(前年25.5%、例年42.4%)。
- b 3月下旬の調査の結果、新植夏植圃場での発病株率は0.03%であった(前年0.7%、例年1.8%)。



黒穂病の発生圃場率の推移(多良間村)



黒穂病の発病株率の推移(多良間村)

防除上注意すべき事項

- a 毎年3月中旬頃から主に株出し圃場において発生し、ピークは4～6月である。
- b 生育初期は発病株の識別が容易で抜き取り作業もしやすい。胞子の飛散を防ぐためにも、発病株は鞭状体の出現前に抜き取り処分する。
- c 収穫後の放置圃場では伝染源となる発病株が見られるため、鞭状体の出現前に耕起する。
- d 抵抗性品種を植え付けるようにする。
- e 苗の薬剤浸漬処理を行う。

(2)カンシャコバナナガカメムシ(ガイダー)

発生程度 : やや多

予報の根拠

3月中旬の調査の結果、茎当たり虫数は138頭(前年97.4頭、平年74.8頭)と平年よりやや多かった。

防除上注意すべき事項

- a 2~3月の気温に基づき、3月24日時点で防除適期を予想すると表の通りとなる。今後の気象の経過次第で多少変動することもある。
- b この時期に地域一斉防除することが望ましい。
- c 薬剤防除の際は、周辺住宅地や隣接圃場に薬剤が飛散しないよう風向きに注意する。

防除適期予想日(3月24日現在)

地域別	防除適期	2.5齡期予想日		
		本年	平年	平年差
宮古諸島	4月8日~4月22日	4月15日	4月18日	3日早い

2 マンゴー

開花・着果期の病害虫防除対策について

- a 開花・着果期を迎えたこの時期は、花穂を中心に炭そ病、うどんこ病、チャノキイロアザミウマやチャノホコリダニなどの病害虫が発生する。
- b 病害虫の発生程度はまだ低いものの、今後、気温の上昇とともに増加すると予想されることから、早期発見・防除に努める。